

2021年7月30日
株式会社三菱総合研究所

2021年4-6月期 GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より8月16日(月)に公表予定の2021年4-6月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。
2021年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.1%(年率+0.2%)と予測します。

2021年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.1%(年率+0.2%)とほぼ横ばいを予測する。

民間最終消費は、同+0.6%と予測する。3回目の緊急事態宣言(2021年4月25日~6月20日)が発令されたが、2回目の緊急事態宣言(2021年1月8日~3月21日)と比較し外出の抑制度合いは限定的であったことから、消費はプラスに転じたとみる。設備投資は、旺盛な半導体需要を受け半導体関連の製造業では堅調を見込む一方、供給制約懸念の高まりや外出関連サービス業での業績低迷が重しとなり、全体としては同▲0.4%の減少を予測する。

輸出は海外需要の回復継続を背景に、同+2.9%と4四半期連続の増加を、輸入は内需の持ち直しに加え、ワクチンなどの医薬品輸入増加もあり同+3.7%と増加を予測する。外需寄与は同▲0.1%ポイントのマイナス寄与を見込む。

図表 2021年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季節調整済前期比(%)	2020年				2021年	
	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP	▲0.5 (▲2.0)	▲8.1 (▲28.6)	5.3 (22.9)	2.8 (11.7)	▲1.0 (▲3.9)	0.1 (0.2)
民間最終消費	▲0.8	▲8.3	5.1	2.2	▲1.5	0.6
民間住宅投資	▲3.7	0.6	▲5.7	0.0	1.2	1.1
民間企業設備投資	1.3	▲6.1	▲2.1	4.3	▲1.2	▲0.4
民間在庫	寄与度 0.2	0.1	▲0.2	▲0.5	0.4	▲0.2
政府最終消費	▲0.2	0.2	2.9	1.8	▲1.1	0.5
公的固定資本形成	0.4	2.2	0.8	1.3	▲0.5	▲1.2
財・サービス輸出	▲4.7	▲17.5	7.3	11.7	2.2	2.9
財・サービス輸入	▲3.0	▲0.7	▲8.2	4.8	3.9	3.7
内需	寄与度 ▲0.2	▲5.2	2.6	1.8	▲0.8	0.2
民需	寄与度 ▲0.2	▲5.4	2.0	1.3	▲0.5	0.1
公需	寄与度 0.0	0.1	0.7	0.5	▲0.3	0.0
外需	寄与度 ▲0.3	▲2.8	2.6	1.0	▲0.2	▲0.1
名目GDP	▲0.6 (▲2.2)	▲7.8 (▲27.7)	5.6 (24.1)	2.4 (10.1)	▲1.3 (▲5.1)	▲0.4 (▲1.6)
GDP デフレーター	前年同期比 1.0	1.4	1.2	0.2	▲0.1	▲0.8
国内需要 デフレーター	前年同期比 0.8	▲0.1	0.2	▲0.6	▲0.4	0.3

注:表中の実績値は2021年1-3月期2次QE。シャドー部分が今回の予測値。
出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 綿谷謙吾

電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

メール:media@mri.co.jp
